

# シンフォニークルーズ

## 安全への取り組み

### ◎船舶安全法・海洋汚染防止法にも基づいた船体検査

国土交通省運輸局の検査ドックは毎年行っており、船体塗装整備、主機関及び発電機関の開放整備、そして消火・救命設備の検査を実施しています。



船体を陸揚げ



救命設備の整備



主機関・発電機開放整備



錨の陸揚げ整備



プロペラスクリューの整備



各機器・配管の整備

### シンフォニークラシカ



総トン数：1,084t 全幅：10.50m  
全長：70.00m 乗船者数：450名  
(一部従業員を含む)

### シンフォニーモデルナ



総トン数：2,618t 全幅：13.00m  
全長：83.20m 乗船者数：600名  
(一部従業員を含む)

### 乗船場所

日の出頭シンフォニーのりば  
ゆりかもめ「日の出駅」より 徒歩1分(新橋駅より3駅)  
JR「浜松町駅」南口より 徒歩12分 都営地下鉄「大門駅」より 徒歩15分  
※駐車場のご用意はございませんので最寄りの交通機関をご利用ください。



## はとバスグループ 株式会社シーライン東京

SYMPHONY TOKYO BAY CRUISE (代表)03-3798-8141  
9:00~17:30(土日祝は除く)

パソコンからもスマートフォンからもご予約いただけます。  
携帯サイトも公開中!

シンフォニーホームページ

<http://www.symphony-cruise.co.jp>

シンフォニー   E-mail [info@slt.jp](mailto:info@slt.jp)





東京湾での快適なクルーズを楽しんでいただくため、シーライン東京では、船の安全運航、船内の快適環境の保持、そして美味しいお料理を楽しんでいただくため、お客さまの安全と安心を最優先に事業に取り組んでいます。

## ☆安全方針に基づいた安全への取り組み

シーライン東京の安全方針に基づき、経営トップから現場まで一丸となり、お客さまの安全と安心に努めています。

### シーライン東京 安全方針 「安全優先」

私たちはすべての事業活動において安全を最優先します。

- ① 輸送の安全確保は事業者の根幹であり、社の使命であることを全社員が深く認識するとともに、関係法令ならびに規則を遵守し、業務の遂行にあたります。
- ② 輸送の安全に関するP（Plan：計画）D（Do：実行）C（Check：点検見直し）A（Act：改善）サイクルを着実に実施するとともに、関係法令ならびに規則を遵守し、業務の遂行にあたります。

## 安全対策事業のいろいろ

### ◎安全対策会議

経営トップ、安全統括管理者、船長、船内支配人、総料理長及び各部部長等で構成される安全対策会議を設置し、船舶の運航安全、地震津波対策、食の安全等、お客さまの安全と安心の確保に向けた予防と対策について、月1回会議を開き様々な検討を行っています。



### ◎防災委員会

安全対策会議の下部組織として各部の社員で構成する防災委員会を設置し、安全対策会議での決定・報告事項の社員への周知や防災訓練の内容の検討などを行うため月1回以上開催しています。



### ◎従業員の健康管理

陸上と船内の各職場委員に産業医も交え、社員の健康について話し合うとともに、年1回、社員全員に定期健康診断を実施し、健康保持や労働災害防止に努めています。

### ◎食の安全対策

船舶内飲用水の水質検査を年に12回（毎月）行うとともに地元保健所による食品衛生講習会については、食品を扱う従業員全員に対して年に複数回参加させています。またアレルギーに関しては使用食材を明記しその都度お客さまのご要請に対応できるよう配慮しています。



整理・整頓・清掃の行き届いた厨房

### ◎防災訓練の実施

経営トップ以下、社員一丸となって二ヶ月に1回、防災訓練を実施しています。船舶に関連した事故が国内外で生じた時は、それに合わせた防災訓練を、また東日本大震災を顧みた避難訓練など、関係行政機関の方々にも参加をいただきながら実施しています。



合同消防訓練

救命浮器投下訓練

### ◎船舶運航等に関する研修

国土交通省や日本船主責任相互保険組合等が実施する各種船舶運航等に関する研修会従業員を積極的に参加させるとともに、AED操作を含めた救命講習会などに従業員を参加させ、万が一の対応に備えています。

### ◎発航前検査・航海当直体制

発航前に船長による航海機器の点検を行っています。航海中はブリッジに航海士と見張員を適切に配置し常時3人の当直体制を保持しています。船舶の輻輳する東京港内は経験豊富な船長が直接指揮を取ります。



船長による発航前検査



航海当直体制



航海計画の作成



離着岸の操船作業

### ◎最新の航海機器

レーダー、GPS、AIS、VHF無線機、ジャイロパス音響測深機など最新の航海機器を導入し安全に努めています。



レーダー・GPS・AIS



VHF無線機・測深機